



第6回 SGU Lunch Time Talk
危機の伝播メカニズム
—世界経済のつながりを考える—



SGU Lunch Time Talk(エスジーユー ランチ タイム トーク)とは、札幌学院大学 Collaboration Centerのエントランス(C館2階)にて開催する教職員が伝えたいトピックを話す企画です。ここで扱われるテーマは、教員の研究テーマはもちろんですが、研究から派生したトピックや、教職員が関心を持って取り組んでいること、学生に是非伝えたいこと、など多様なテーマを取り上げます。

「札幌学院大学にはどんなことを研究している教員がいるのか」という地域の方々は、是非ご参加ください。ランチタイムですので、軽食をとりながらの参加でも構いません。

<第6回 SGU Lunch Time Talk>

危機の伝播メカニズム—世界経済のつながりを考える—

- 【話し手】新開 潤一 (経済学部 経済学科 講師)
- 【内 容】裏面を参照ください。
- 【日 時】2016年11月24日(木) 12:30~13:00
- 【場 所】Collaboration Center エントランス (C館2階)
- 【その他】参加無料・予約不要
- 【問合せ先】代表 011-386-8111 (担当: 学生支援課 学生支援係)

※この資料は、北海道教育記者クラブ、江別市政記者クラブに配布しています。

【取材のお申し込み】

〒069-8555 北海道江別市文京台11番地 札幌学院大学広報入試課広報係
代表 011-386-8111 (内線 3518) 平日 9:00~17:00 土曜 9:00~12:00
URL <http://www.sgu.ac.jp/> E-Mail: kouhou@ims.sgu.ac.jp



<第6回 SGU Lunch Time Talk>

危機の伝播メカニズムー世界経済のつながりを考えるー

話し手：新開 潤一（経済学部 経済学科 講師）

2007-08年に発生した米国のサブプライムローン問題は、世界経済に深刻な景気後退をもたらしました（世界金融危機）。日本も例外ではなく、経済成長率が大幅に低下して多くの方が職を失いました。米国の危機は、主に2つの経路を通じて世界全体に波及しています。日本や東アジアには外国への輸出が減少するという貿易経路を通じて、欧州には金融機関のバランスシート悪化により国内信用が収縮するという金融経路を通じて波及しました。

危機波及の背景には、1990年代以降、経済のグローバル化が進展することで、世界経済の結びつきが強くなったことが要因として挙げられます。たとえば、企業は従来のように自国内で製品を製造して輸出するのではなく、海外工場を建設して部品製造や組み立てを行い、そこから世界各国へ輸出しています。さらに国際金融取引の規制が緩和されることで、金融機関は海外銀行への貸し付けや海外金融資産の保有を積極的に推し進めました。その結果、ある国の問題が他国にまで影響するほど各国経済の相互依存が強まりました。

今回のランチトークでは、危機の伝播メカニズムを解説しながら、世界経済がどのようにつながっているのかを語りたいと思います。みなさん、是非ご参加下さい。



▲前回の様子

※この資料は、北海道教育記者クラブ、江別市政記者クラブに配布しています。

【取材のお申し込み】

〒069-8555 北海道江別市文京台 11 番地 札幌学院大学広報入試課広報係

代表 011-386-8111（内線 3518）平日 9:00～17:00 土曜 9:00～12:00

URL <http://www.sgu.ac.jp/> E-Mail: kouhou@ims.sgu.ac.jp